

* インキュベーション研究（IS）説明会Q & A *

平成27年度向け公募説明会（平成27年3月6日）

【FSおよびプロジェクトについて】

- Q. 個別連携プロジェクト、未来設計プロジェクト、機関連携プロジェクト各々の研究活動数は今後どのように推移する見通しですか？
- A. 研究プロジェクトの採択は地球研研究プロジェクト評価委員会（PEC）による評価に委ねられているため、今後の推移は委員会の評価により変化していきます。
- Q. どのタイミングで機関連携FS候補または個別連携FS候補になるのでしょうか。
- A. IS報告書・FS移行計画書提出時に機関連携FS候補または個別連携FS候補のどちらとして審査を受けるかについて、所内対応者と協議のもとに決定していただきます。

【応募書類・研究計画について】

- Q. 応募書類には、IS期間のみの計画内容を記載するのでしょうか。FR（本研究）まで見越した計画内容を記載するのでしょうか。
- A. FR（本研究）まで進展することを視野に入れた計画が望ましいです。

【所内対応者について】

- Q. 所内インキュベーターにはどのレベルの研究者を充てることになりますか？
- A. 地球研所内インキュベーターには可能な限り地球研に所属する教授クラスが充たることを予定しています。なお、希望する所内インキュベーターが居ない場合は、申請書の「地球研対応者の職・氏名」欄は未記入のままでも構いません。
- Q. 所内インキュベーターはどの段階まで関わることになりますか？
- A. ISの実施期間中は所内インキュベーターが責任を持って対応します。FRに進展した場合の共同リーダーやメンバーとしての参加を前提としてはいません。

【研究機関について】

- Q. 機関連携プロジェクトに進展した場合地球研と協定を締結することとなっていますが、大学レベルで結ぶのでしょうか。それとも研究科・研究所等のレベルで結ぶのでしょうか？
- A. その機関の長が人事権を有しているのであれば、協定の名義者が大学長か研究科長等かは問いません。

【FRに進展した場合のプロジェクトリーダーについて】

- Q. 公募要領に、FRに進展した場合、プロジェクトリーダーの「地球研におけるエフォート率等は個別に相談」とありますが、具体的にはどういったことですか？
- A. プロジェクトリーダーの地球研での活動のエフォート率は可能な限り高いことが望ましく、7割以上を期待しています。なお、機関連携プロジェクトについては、プロジェクトリーダーが十分なエフォートをさけない事情がある場合は、地球研での活動を主とすることを前提にした共同リーダーを立てることも可能です。

- Q. 公募要領に「プロジェクトリーダーは所属機関から地球研への出向あるいは派遣といった形態をとるか、または地球研の専任教員になっていただく」とありますが、所属機関との兼任は可能ですか？
- A. 可能です。地球研と所属機関のエフォート配分については個別に相談させていただきます。

【評価について】

- Q. 本研究（FR）へ発展した場合、最終的なプロジェクトの評価はどのように行われるのですか？
- A. 毎年12月ごろに行われる地球研研究プロジェクト発表会で、その他のプロジェクトと同様に研究成果の発表をしていただきます。この研究プロジェクト発表会は、地球研職員のほか関係者が広く参加するものであり、毎年活発な意見交換が行われています。
- また、本研究（FR）の1年目、2年目及び4年目、そして最終年度には、所外の有識者から成る研究プロジェクト評価委員会（Project Evaluation Committee 通称：PEC）にて研究成果の報告を行い、プロジェクトの評価を受けていただきます。
- Q. 研究プロジェクト評価委員会（PEC）とはどのような組織ですか？またPECでは公正な評価がされるのですか？
- A. PECメンバーの詳細については、地球研ホームページ及び要覧にて確認いただけます。多岐に渡る分野から有識者を招請し、また半数が海外の研究者から成る完全な外部評価委員会であり、公正かつ厳格で透明性の高い審査が行われます。各プロジェクトに対する評価結果は地球研ウェブサイトで公開されています。

【予算について】

- Q. 予算の執行について留意する点がありますか？
- A. ISは、あくまで地球研のプロジェクトとして推進するものです。そのため、所属機関に予算の管理・運用をお願いすることはありません。予算の執行は地球研が担当者を定め、財務システムに則り責任をもって管理します。